

第157回 定時株主総会

2021年6月25日

株式会社 トクヤマ

もっと未来の人のために



報告事項

- 事業の経過及びその成果
 - 連結損益計算書
 - 連結貸借対照表
- 対処すべき課題

事業の経過及びその成果

連結損益計算書

	当期	前期比
売上高	3,024億円	4.3%減
営業利益	309億円	9.8%減
経常利益	307億円	6.2%減
親会社株主に帰属する 当期純利益	245億円	23.1%増

化成品 セグメント

主要製品

苛性ソーダ、ソーダ灰、塩化カルシウム、珪酸ソーダ、
塩化ビニルモノマー、塩化ビニル樹脂、酸化プロピレン、
イソプロピルアルコール、塩素系溶剤、液化用水素 等

(当期の概況)

- 苛性ソーダ
 - ・ 国内販売数量減
 - ・ 海外市況の下落
- 塩化ビニルモノマー・塩化ビニル樹脂
 - ・ 輸出価格の上昇
- 塩化カルシウム
 - ・ 販売数量増

売上高

営業利益

937億円

854億円

153億円

141億円

第156期

第157期

第156期

第157期

特殊品 セグメント

主要製品

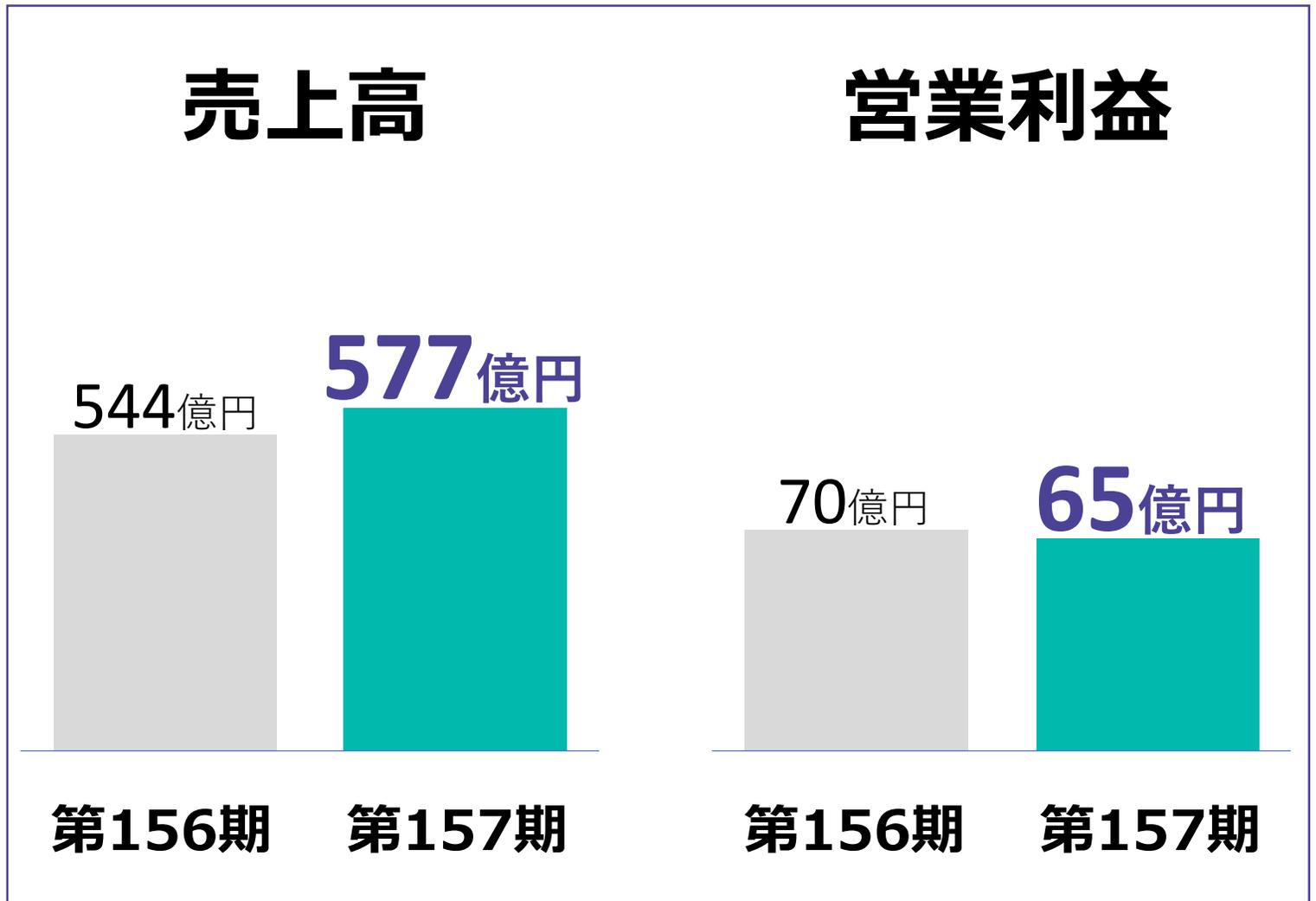
多結晶シリコン、乾式シリカ、四塩化珪素、
窒化アルミニウム、電子工業用高純度薬品、
フォトレジスト用現像液 等

(当期の概況)

- 多結晶シリコン
 - ・販売は堅調
 - ・売上構成の変動等
- 電子工業用高純度薬品
 - ・海外向けを中心に販売数量増
- 乾式シリカ
 - ・販売数量減

売上高

営業利益



セメント セグメント

主要製品

セメント、生コンクリート、セメント系固化剤 等
資源リサイクル

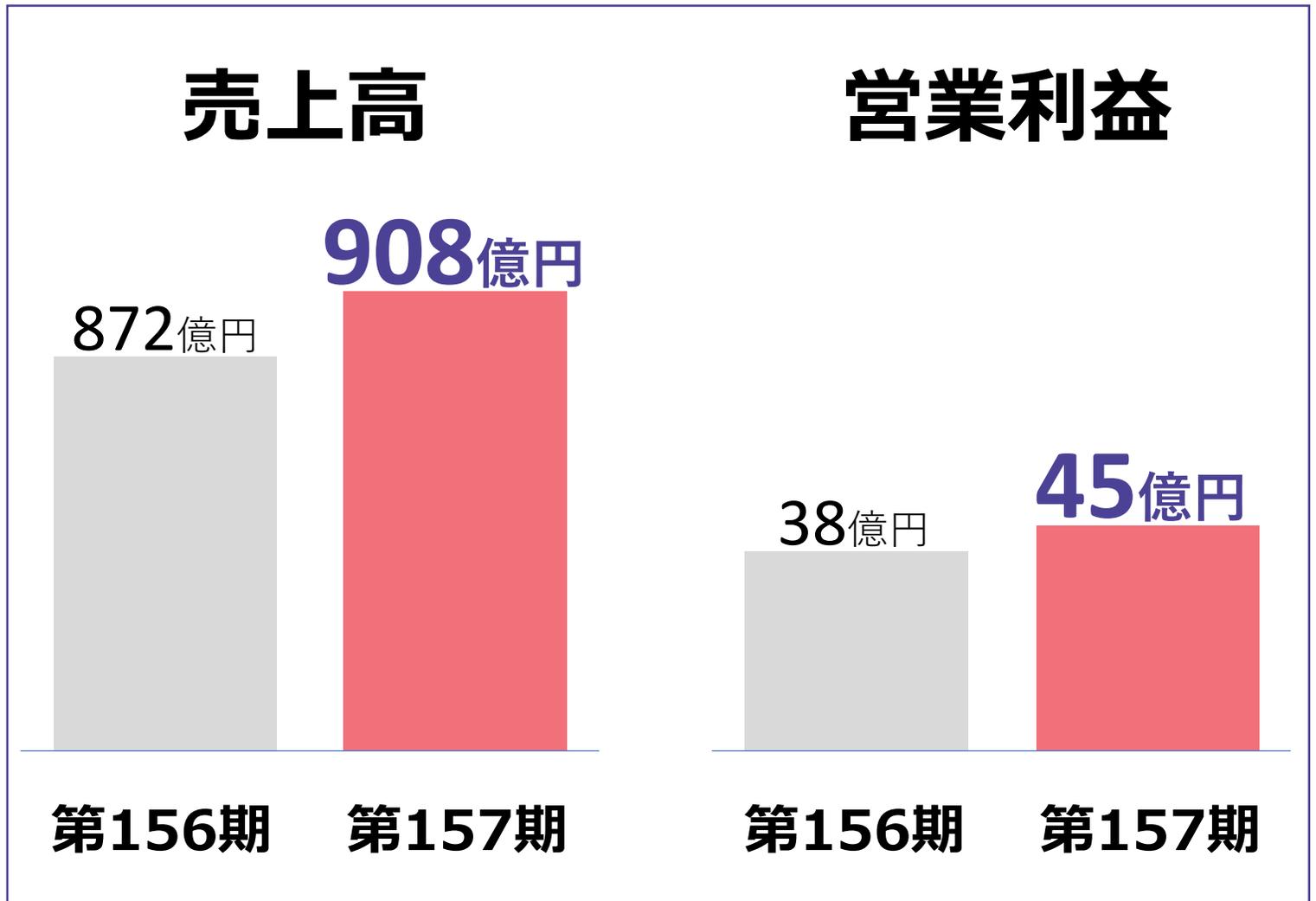
(当期の概況)

○セメント

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の国内販売への影響が限定的
- ・製造コスト低減

売上高

営業利益



ライフアメニティー セグメント

主要製品

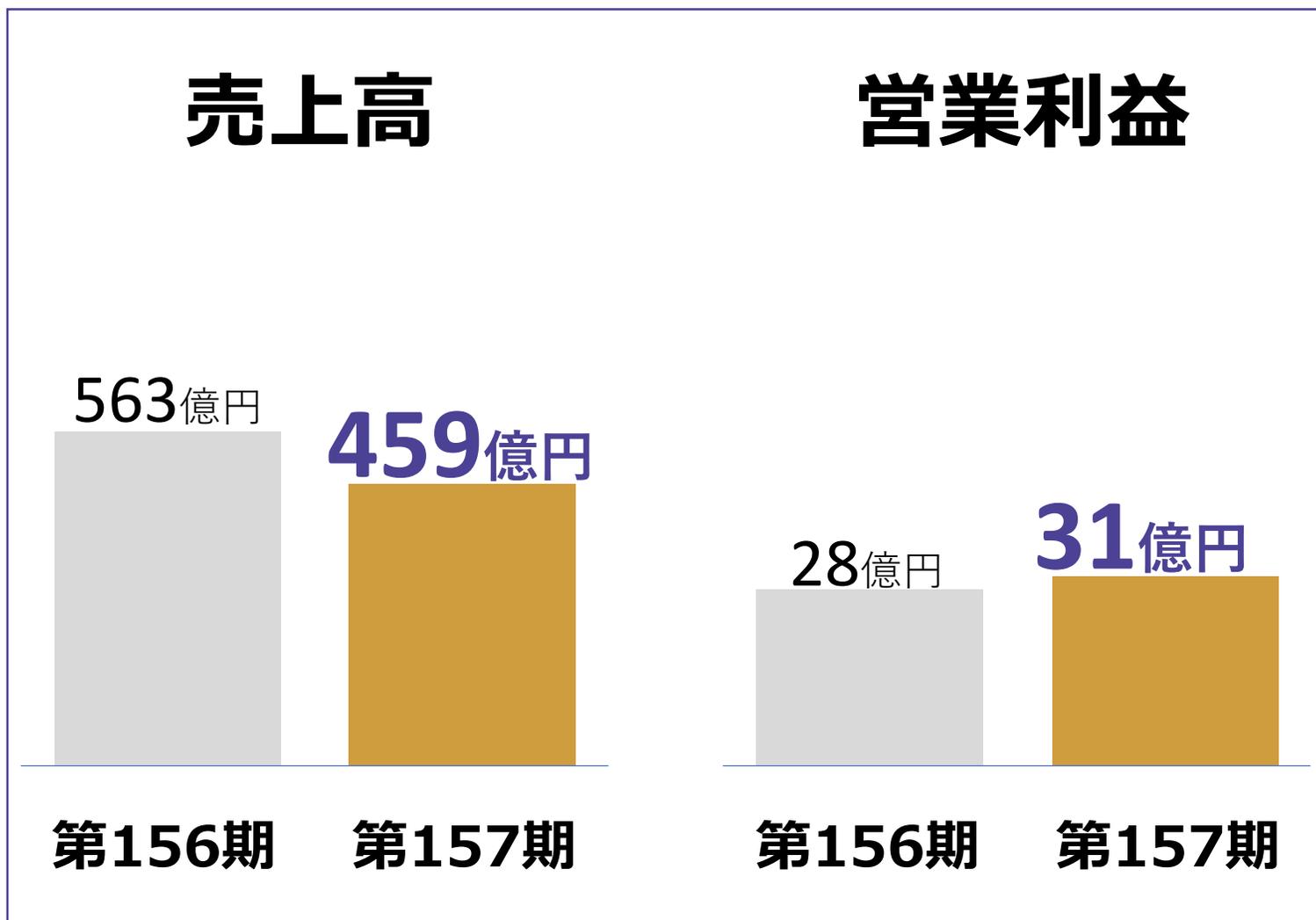
ポリオレフィンフィルム、樹脂サッシ、医療診断システム、
歯科器材、イオン交換膜、医薬品原薬・中間体、
プラスチックレンズ関連材料、微多孔質フィルム 等

(当期の概況)

- 医薬品原薬・中間体
 - ・ ジェネリック医薬品の販売数量が堅調
- 歯科器材
 - ・ 欧米向けの輸出数量回復
 - ・ 広告宣伝費等の低減
- 医療診断システム
 - ・ 検体検査自動システム、
臨床検査情報システムの販売が減少
- その他
 - ・ サン・トックス株式会社を連結から
除外（第3四半期）

売上高

営業利益



連結貸借対照表

資 産 3,867億円 (33億円増)	負 債 1,815億円 (214億円減)
	純資産 2,052億円 (248億円増)

対処すべき課題



中期経営計画 2025

(2021年度～2025年度)

事業環境に対する認識

徳山製造所の
インテグレーションされた高効率な
生産プロセスが競争力の源泉

石炭火力発電に依存した
エネルギー多消費型事業が
収益を牽引

直面する経営課題

社会

産業構造変化の加速
デジタル革命の急進

日本

国内需要の縮小
健康志向の高まり

地球

環境意識の高まりと
規制強化

これまでの延長線上にない事業の構築・成長が必要
収益力・競争力の確保は必須

トクヤマの存在意義を再定義

スローガンは “もっと未来の人のために”

Mission
経営理念

存在意義

化学を礎に、環境と調和した
幸せな未来を顧客と共に創造する

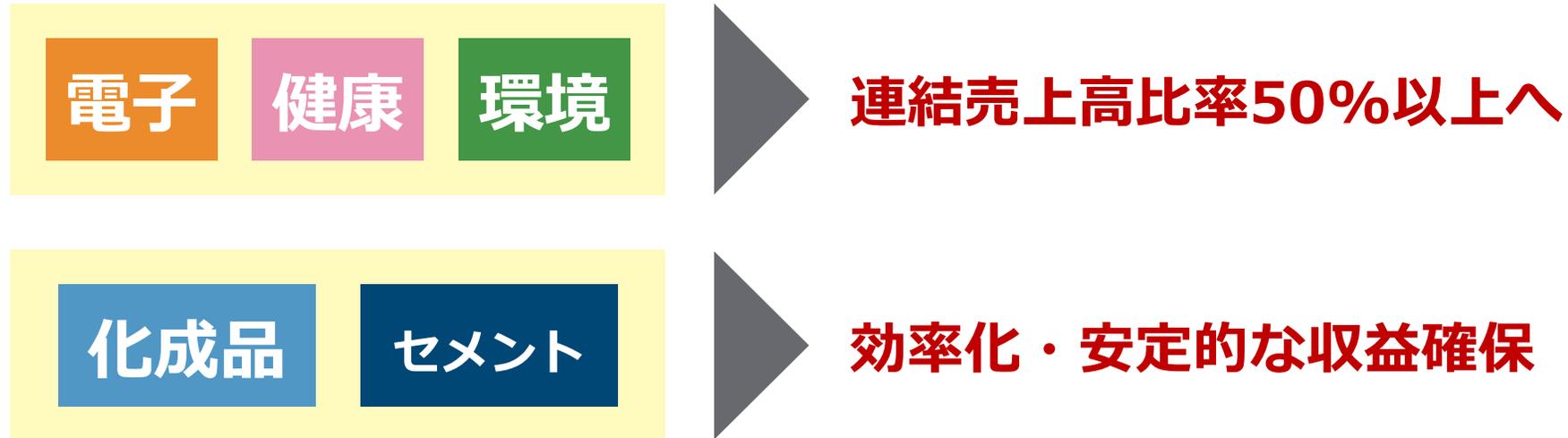
Vision
経営方針

ありたい姿

- ・ マーケティングと研究開発から始める価値創造型企業
- ・ 独自の強みを磨き、活かし、新領域に挑み続ける企業
- ・ 社員と家族が健康で自分の仕事と会社を誇りを持つ企業
- ・ 世界中の地域・社会の人々との繋がりを大切にする企業

事業ポートフォリオの転換

●成長事業を主軸とした事業構造への転換



重点課題と施策	
技術	社外との連携強化による技術の差別化
効率化	DX推進によるオペレーションの効率化
国際展開	成長する海外市場での事業拡大

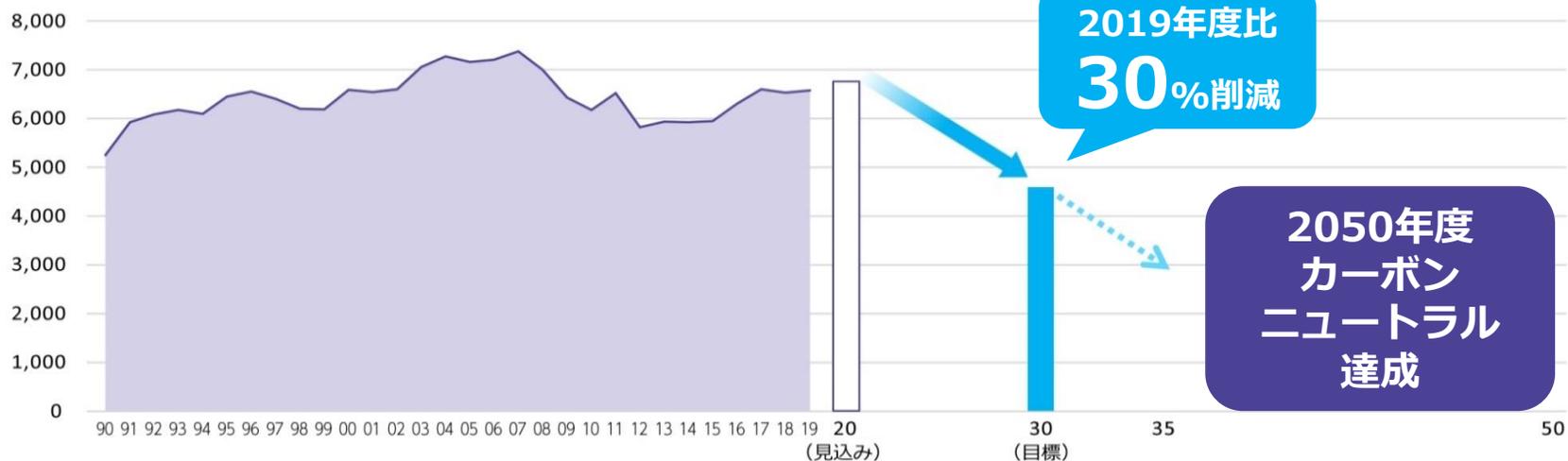
●価値創造型企業・ソリューション提供型企業への転換

地球温暖化防止への貢献

目標：2050年度カーボンニュートラル達成

- ・ 原燃料の脱炭素化
- ・ 次世代エネルギーの技術開発の加速、事業化
- ・ 国内外のバイオマス燃料の開発、利活用
- ・ 環境貢献製品の開発、実装

CO₂総排出量の推移
(千トン-CO₂)



CSR経営の推進

トクヤマのマテリアリティ

環境	地球温暖化防止への貢献	 
	環境保全	      
保安防災	無事故・無災害	   
技術・品質	化学品管理・製品安全性の強化	  
	社会課題解決型製品・技術の開発	    
社会	地域社会との共存、連携、貢献	  
	CSR調達の推進	   
	人材育成	  
	多様性（ダイバーシティ）と働きがいの重視	  
	心と体の健康増進	 

2025年度 達成目標

※収益認識に関する会計基準等を適用した数値

売上高 **3,200億円**

営業利益 **400億円**

**成長事業の売上高
成長率 (CAGR)** **10%以上**

R O E **10%以上**

決議事項

第1号議案

剰余金の処分の件

(招集ご通知 9頁)

配当金について

	前期	当期
中 間	35円	35円
期 末	35円	35円
年間合計	70円	70円
剰余金の配当が 効力を生ずる日	2021年6月28日	

第2号議案

**取締役（監査等委員である取締役を除く。）
4名選任の件**

（招集ご通知 10～14頁）

取締役候補者（監査等委員である取締役を除く。）

候補者番号

氏名

1

再任

横田 浩

2

再任

杉村 英男

3

再任

野村 博

4

再任

岩崎 史哲

取締役（監査等委員である取締役を除く。）



横田 浩



杉村 英男



野村 博



岩崎 史哲

第3号議案

監査等委員である取締役 5名選任の件

(招集ご通知 15～21頁)

監査等委員である取締役候補者

候補者番号

氏名

1

再任

宮本 陽司

2

再任

加藤 慎

3

再任

河盛 裕三

4

再任

松本 直樹

5

新任

水本 伸子

監査等委員である取締役



宮本 陽司



加藤 慎



河盛 裕三



松本 直樹



水本 伸子

第4号議案

取締役等に対する業績連動型 株式報酬等の改定の件

(招集ご通知 22～26頁)

変更の概要

対象期間

2021年度～2025年度

**当社が拠出する
金員の上限**

1億2,000万円/1事業年度

**交付等が行われる
当社株式の数の上限**

40,000株/1事業年度

業績連動係数

- ・ 対象期間中の連結営業利益の累計額
 - ・ その他の業績評価指数の目標達成度
- ➡0～150%の範囲で変動
-

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 